

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	R5年度「ひさかた和紙」地域振興事業	
事業主体 (連絡先)	ひさかた和紙の会 携帯:080-5140-8503	
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業	
事業タイプ	ハード	
総事業費	3,322,287 円 (うち支援金:	2,491,000 円)

事業内容

- 1 紙漉き
- 2 コウゾ収穫、金蒸し、皮剥き、薪割
- 3 小学生のコウゾ収穫/皮剥き体験学習
- 4 コウゾ皮たくり作業
- 5 和紙講座
- 6 紙漉き用具補充 紙漉き工房・用具置き場の整備整頓
- 7 小学生紙漉き体験学習
- 8 他団体との技術交流
- 9 和紙販売(大口注文のみ標記)



【1年生皮剥きとコウゾ蒸し釜作業】

事業効果

- ①地区内外の交流が推進でき、地域振興につながった。
 - 活動日数 ⇒ 目標130日→154日(約1.2倍)
 - 紙漉き体験延べ人数(約1.5倍)
 - ⇒小中学生・学生・一般:200名→300人
 - ⇒団体5、個人30人→団体27団体
 - 活動に参加した会員の延べ人数(約1.16倍)
 - ⇒791人→915人
- ②地区外の希望者や観光目的で紙漉き体験やコウゾ畑の見学をしていただき、紙が完成したときに感動していただく姿に会員の活動意欲が刺激され、会員のエネルギーとなった。
- ③常時活動する会員が5、6名増え、世代の若返りに繋がった。
- ④今年度は開校150周年ということで、小学校とタッグを組み地域住民を巻き込んで和紙を使った児童の記念製作に寄与することができた。
- ⑤地域内外の方々との交流ができた。
 - ⇒団体・企業等5、学校4校、個人・家族5
- ⑥和紙の生産量
 - 賞状サイズ 1,096枚 A3サイズ141枚 大判331枚 はがき7枚

【目標・ねらい】

- ① 下久堅地区地域振興事業の重点としてひさかた和紙活動の発展・継承
- ② ひさかた和紙による下久堅の絆の強化
- ③ 地域社会に根付く小中学校教育課程の実施
- ④ 下久堅への交流人口や定住人口の増加

※自己評価【A】

【理由】

- 目標③については、開校150周年を迎え、小学校の児童が予想以上に積極的に関わってくれた。特に、6年生は自分たちだけで紙漉きができるようになった。
- 他の3つの目標も大部分が達成され、地区役員や会員の事業への参加が増えた。観光業者の参加や他団体との連携、さらには行政からの和紙受注などにより、和紙の販売が拡大した。
- 今年度から組織の見直しを始め、分業化が進み、紙漉きを協力的に手伝う方々が増え、特定の方への負担が徐々に軽減されつつある。

今後の取り組み

- 部分的ではあるが和紙の取り組みへの理解が、不十分に感じるときがある。目標①は、ひさかた和紙活動の重要な存続意義を捉え、組織や活動体制を工夫改善し、地域協働の組織として楽しく参加できる地域振興を推進したい。
- 事業活動の中で和紙や関連商品の販売により、活動費用が少しでも補充できるような企画を立案したい。
- 組織の見直しや活動方法、設備、用具等の改善補充を継続して定例役員会で検討し、持続可能なひさかた和紙活動を目指したい。